

Radixの会 2004～2005年度活動報告

Radixの会 事務局長 竹内 周

Radixの会は、現行規約の整った2000年度以降を2年ごとに「基盤作り」「実体作り」「成果作り」と位置づけ、節目としての総会で結果をご報告しながら、今回発足10年を迎えました。「学ぶ、出会う、伝える。……活動の成果作りをしよう」。2年前の総会以降現在までの活動とその“成果”をご報告させていただきます。写真等交えお伝えしたいところですが、詳細につきましては会報『ラディックスニュースレター』のバックナンバーをご参照ください。

【農産部会】

2年間の成果は、活動スタイル（地域ブロックと全国農産部会によって活動を進めるスタイル）がとても安定的に機能し、その中から着実な活動の結果が出始めたことです。

第1点は小祝氏の指導が全国に広がり、基礎から実践に至り各地でより実践的な栽培対策勉強会の様相を呈し始めました。いまや有機栽培を植物生理の視点で捉え、現場でアプローチする小祝氏の考え方はひとつの常識となつつあります。2点目はかあちゃん若者集会も回を重ね、普段離れているお互いの情報共有が進みました。3点目は在来種調査は3年を経てホームページ等での情報発信が随時行なわれるようになり、全国のネットワークから随時情報が集まるようになりました。

●部会運営

2003年度まで全国6ブロックで運営してきた地域ブロックは、2004年度より北海道・東北・関東・WEST・九州の5ブロックに集約しスタートしました。各地域計31名のブロック委員の皆様に加えて、らでいっしゅぼ一や農産部からも委員を迎え、それぞれ年2回の会合を行ないつつ、勉強会の計画立案ほか様々な活動計画を打ち合わせ、組み立ててきました。

●勉強会

2003年度にスタートした実践編、自主勉強会スタイルの“ミニ小祝塾”は、2004年度65産地・のべ参加者数1,246名、2005年度は52産地・のべ参加人数993名（1月21日現在）と推移しています。2005年度からは問題点を生産者・らでいっしゅぼ一や・小祝氏

の3者で共有し、解決方法を模索する目的をもって、単一産地を巡回するのではなく、地域別に品目ごとのテーマを設けた勉強会とし運営しました。

また、小祝政明氏著『有機栽培の基礎と実際』（農文協）の2005年春刊行に合わせた基礎編勉強会を8月に東京・大阪で、11月に北海道で開催しました。

2005年度からは施肥設計だけでなく気象、虫害、農政など多方面の勉強会を進める方向性が打ち出されました。試験的な取り組みとして果樹防除の勉強会（和歌山）とIBM（統合的多様性管理）勉強会（山形）をそれぞれ開催し次年度に継承する方向性が確認されています。

●集會等

2004年度の集會テーマは“女性と若者”。交流部会と連携し、2003年度に東北ブロックにてスタートした“かあちゃん集會”は、2004年度に東北（山形県南陽市）、北海道（北海道札幌市）、WEST（大阪府池田市）の3回を開催。2005年度は九州（熊本県水俣市）にて開催しました。どの開催も温泉地で“お互い知り合うこと”に重点を置き、和やかな雰囲気の中、ゆっくりと盛り上がりました。

一方“若者集會”は2004年度の東北ブロックでの開催が初回（岩手県遠野市）。同年九州にて予定された若者集會はあいにくの台風上陸で中止、2005年度にリベンジ（熊本県八代市）し、大盛況でした。同年の東北若者集會は山形・庄内で開催されました。男女別なく40歳未満を参加資格とした若者集會。3回ともスポーツで汗をかくことを重視。夜半過ぎまでの語らいは農業や地域の未来に行き着き、同世代の仲間意識が芽生えていきました。

●在来種調査

在来種調査の取り組みは2005年度で4年を迎えます。この2年間の取り組みとしては、在来種のネットワークづくりの一環として、全国の種苗店・メーカーを11カ所、全国の産地・生産者を10カ所、種苗研究会やシンポジウムや伝統野菜を大切にするレストランなどを9カ所訪問調査しました。これらの調査により得た情報は、2005年5月会員向けホームページ『種の旅』にて発表。かつメールマガジンを発行、希望者を募り在来種についての最新情報の発信を開始しました。さらにらでいっしゅぼ一やで主催する“いとめづらし選定会議（年2回開催）”に参加し提案を行なっています。

●補助支援等

検査機器等購入費用の一部助成は、2004年度（Drソイル29台・みどりくん21台・PHメーター30台・ECメーター44台。助成額合計1,062千円）、2005年度（Drソイル56台・みどりくん19台・PHメーター30台・ECメーター26台・試薬セット39。助成額計1,532千円）と推移。2004年度は土壌分析ビデオも制作。内容はDrソイルの使い方、全国4産地の活用例、土壌分析の実績など。86本を配布しました。2年連続して書籍購入助成をおこないました。対象書籍は小祝政明著『有機栽培の基礎と実際』（1,024部）、岩崎政利著『岩崎さん家の種子採り家庭菜園』（96部）の配布となりました。

【畜産部会】

畜産部会2年間の活動は“有機”“国産”“フェアトレード”による日本産畜産物全体の価値向上が大きなテーマです。すべてが飼料に由来する活動であるこ